

ヒメボタル

Hotaria parvula Kiesenwetter

コウチュウ目ホタル科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

石川県における生息地が加賀南部に限られていて、今後、森林開発による環境変化が生ずる可能性がある。

形態

体長6mm前後で、ヘイケボタルに似ているが、前胸背は淡赤色である。

国内分布

本州、四国、九州に分布する。

県内分布

加賀市、小松市、白山市の低山地から山地に生息するが、発生地は限られる。

生態

成虫は、6月下旬から7月上旬にかけて出現する。オスはフラッシュ光を放ちながら飛翔するが、メスは後翅が退化し飛べない。幼虫は陸生で、オカチョウジガイ等の陸生貝類を食するといわれているが、本県では確認されていない。

生息地の条件

溪流に比較的近く、湿気が多い杉林の林床で草や灌木が生育している所に生息する。エサとなる陸生の貝類が生息することも重要である。

生存の危機

現在のところ生息地における本種の個体数は比較的安定しているが、本種がエサとしている陸生貝類は分布が局地的で、環境の変化に敏感なため、森林の開発や荒廃による影響を受けやすい。一部の生息地では、開通した道路の街灯照明が本種の生態に影響を与えている。(A)

特記事項

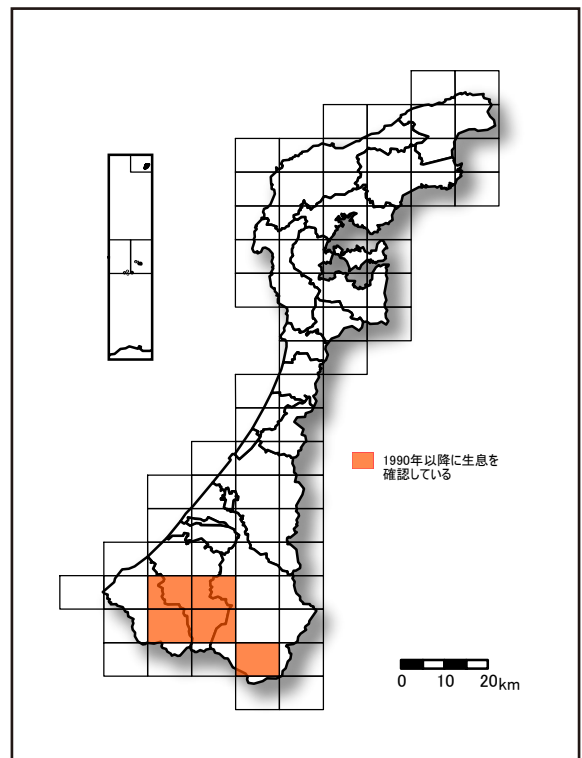
石川県のヒメボタルはいわゆる「小型ヒメボタル」で、現在のところ杉林以外の林床からは見つからない。

参考文献

大場信義 2004. ホタル点滅の不思議. 199pp. 横須賀市自然・人文博物館発行, 特別展示解説書.
加藤明宏 2007. ヒメボタルの調査. とっくりばち, (75) : 22-24.



写真提供者: 富沢章



県内の分布